

食品ロスをなくすために

質問 食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は、農林水産省によると日本では年間642万トンと推計されている。当市の食育、環境教育での取組み状況、市全体の推進、事業者との連携、フードバンクの活用状況は。

市長 保育所は「食を営む力」の育成、基礎を培い食物を大切にする事につなげる。市としては食品ロスの削減はごみ減量化を推進するキーワードとして取組む。広報や啓発ポスター、出前講座で協力いただく。事業者へは、食品廃棄物を肥料、飼料での利活用を推進する。家庭の備蓄品は「ローリング・ストック方式」が主流であり、フードバンク等への寄付にはつながっていない。

教育委員長 小中学校では「食に関する年間指導計画」を作成し指導している。食や環境への関心を高め「もったいない」との心を育てていく。

アプリで子育て支援を

質問 多様化する子育てニーズへ対応するため情報提供を子育て応援アプリを活用してはどうか。先進地で大変好評を得ている。

市長 先進地の状況や近隣での状況を確認し検討する。



先進地の取組（せたがや子育て応援アプリの画面）

※デジ教科書
読み書きに障がいのある児童生徒が使用する電子教科書

教育委員長 難聴学級では補聴システムを購入し対応している。タブレット端末の導入の研究指定で試験的導入やデジ教科書の活用など検討する。

市長 新生児聴覚検査の周知推進を行い、受診を確認する。

新生児に聴覚検査を



あべかよこ 阿部加代子 議員(公明党)

空き家対策に早急に本腰を入れるべき

質問 市の調査では空き家は約2千2百件、そのうち約6百件の調査を継続する。世帯主の割合を考えると、江刺区の空き家率は高いが対策は。

市長 今後空き家率の高い地域の対策と全体的施策を検討していく。総合計画への掲載や個別の対策も検討していく。

質問 空き家対策のワーキンググループの設置の時期はいつか。空き家バンクの獲得数値目標を掲げるべきと思うが。

市長 早急に庁内ワーキンググループを設置し、空き家対策計画の策定を進める。ホームページも作り直し、空き家対策や移住定住を促進する。

質問 1アールの農地付空き家の販売を行っている市もあるが当市では可能か。

農業委員会会長 当市の耕作農地は50アールが多く緩和は考えていない。

質問 空き家も増加し遊休農地も拡大している。空き家と遊休農地の関連は。

農業委員会会長 現時点では把握していないが今後調査する。

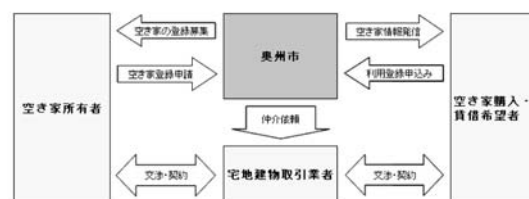
公葬地の管理の取り決めるべきだ

市長 市の所有地の公葬地は何カ所か。一部墓地の底地が市の所有地は28カ所、使用者等が維持管理している。管理に不安な公葬地も出ており調査すべきだ。



あいかわ たすく 及川 議員(奥和会)

空き家バンクのイメージ



※市は空き家の紹介のみを行い、交渉については市内の宅地建物取引業者が行います。これにより、仲介手数料が必要となりますのでご了承ください。

奥州市空き家バンクHPより